

# 給付奨学金申請書（家計急変採用）

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

私は、家計を急変させる予期できない事由が生じたため、裏面「収入に関する証明書類のチェックシート」の該当項目にチェックを記入したうえで、独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という。）の給付奨学金（大学等における修学の支援に関する法律第4条及び独立行政法人日本学生支援機構法第17条の2に規定する学資支給金をいう。）を申請します。

記入日（西暦）	年	月	日
---------	---	---	---

「マイナンバー提出書」に記載されているIDを記入（下6桁を続けて記入）※パスワードを記入しないこと

申込ID	Z	D	2	3						
------	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--

## 申請者本人

所属する学校名									
氏名	カナ（姓）				カナ（名）				
	漢字（姓）				漢字（名）				
生年月日（西暦）		年	月	日生	学籍番号				

## 家計急変事由（口欄は✓を記入）

家計急変の事由が生じた生計維持者（原則父母、 父母がいない場合は生計を維持する主たる人）		<input type="checkbox"/> 父	<input type="checkbox"/> 母	
		<input type="checkbox"/> その他(あなたとの続柄) ( )		
事由（該当する事由を○で囲む）	確認後に✓を記入			
A	生計維持者の一方（又は両方）が死亡	死亡事由の場合、亡くなられた方が「家計急変事由が生じた生計維持者」となります。		
B	生計維持者の一方（又は両方）が事故又は病気により、半年以上、就労が困難	スカラネット入力完了日時点においても就労困難の状態が引き続いており、就労はしていません。		
C	生計維持者の一方（又は両方）が失職（「非自発的失業」の場合に限る。）	スカラネット入力完了日時点で再就職や起業をしていません。		
D・① D・② D・㊦	生計維持者が震災、火災、風水害等に被災した場合であって、次のいずれかに該当 ① 上記A～Cのいずれかに該当し、A～Cの証明書を提出することができない。 ② 被災により、生計維持者の一方（又は両方）が生死不明、行方不明、就労困難など世帯収入を大きく減少させる事由が発生	スカラネット入力完了日時点においても被災により家計急変が継続しています。		
E	本人が父母等による暴力等から避難するために、「児童福祉法」又は「売春防止法」の定める施設等入所等することとなった	スカラネット入力完了日時点においても保護施設等に入所等しています。		
家計が急変した事由が発生した年月日（西暦）		年	月	日

提出年月日 20 年 月 日

学校名

関係課長(※)

※証明者は課長相当職以上の方としてください。

電話番号（担当者名）	学校番号	区分
- - ( )	.....	.....

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務（返還業務を含む）及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

---

月ごとの給与明細書、賞与明細書、役員報酬明細書等を用意しましたか（通帳コピーは不可）	
氏名の記載はありますか	
勤務先名の記載はありますか	
支払日または●月分であるかが明記されていますか	
印字は鮮明ですか	
コピーの際、文字等は切れていないですか	